

世界健康安全保障 イニシアティブ(GHSI) の活動について

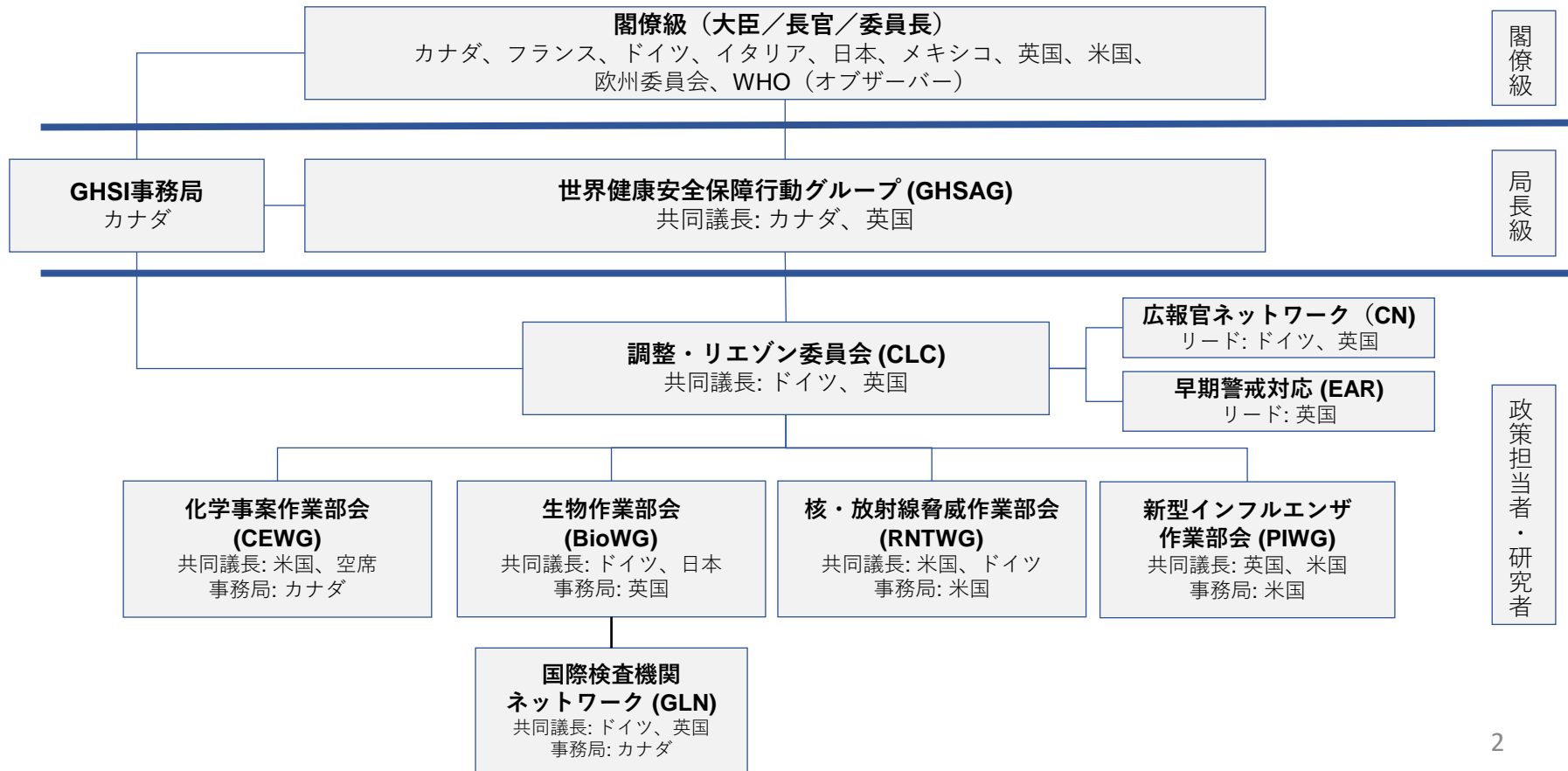
世界健康安全保障イニシアティブ(GHSI)について

1. 経緯

2001年（平成13年）9月11日の米国における同時多発テロを受け、米国・カナダ政府の呼びかけにより、世界的な健康危機管理の向上及びテロリズムに対する準備と対応に係る各国の連携等について話し合うことを目的に各国保健担当大臣会合として発足。

2. 構成

G7（カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国）、メキシコ、欧州委員会（EC）がメンバーであり、WHOはオブザーバーとして参加。



令和5年度のGHSIでの主な活動

• GHSI 閣僚級会合

令和5年5月13日にG7議長国の日本において、G7長崎保健大臣会合のサイドイベントとして開催。加藤厚生労働大臣が参加し、CBRN（化学(chemical)、生物(biological)、放射性物質(radiological)、核(nuclear)）脅威に対する準備と対応の強化の重要性、MCM（Medical Countermeasures：感染症の流行等の公衆衛生危機に対し、医療的な対抗手段となる重要性の高い医薬品や医療機器等）の備えに関するGHSI ネットワーク内の多国間協力の利点と重要性について議論。

• GHSI 調整・リエゾン会合

令和5年11月にカナダで開催。イベント管理対応フレームワーク中の急性緊急通信プロトコル訓練での反省を共有。閣僚級会合での議題となったMCMへのアクセスについて、GHSI各国内での状況を共有しGHSIの活動方針を検討するとともに、各WGの活動報告等を実施。

• GHSAG（局長級）会合

令和5年度中の対面会合の開催はなく、オンライン会合を定期的に行う。イベント管理対応フレームワーク中の急性緊急通信プロトコル訓練の反省と改善案等について議論。

• 他の作業部会、等

- H5N1 鳥インフルエンザやCOVID-19の情報共有、イスラエル／ガザ／ウクライナ等への保健医療対応の情報共有を実施。